

別記様式

会 議 議 事 録

審議会等の名称	平成27年度 第1回 磐田市環境市民会議 議事録
担当部課名	環境水道部 環境課 (内線 3126)
会議の開催日時	平成27年11月20日(金) 午前10時00分～午前11時45分
会議の開催場所	市役所西庁舎3階 特別会議室
出席者(職・氏名)	<p>委員15名</p> <p>(出席者13名)</p> <p>佐藤 和美、杉浦 聖、山下 宏子、高木 浩三、酒井雄一郎 鈴木 昇、村田 慎哉、溝口 徳、安田 博俊、山浦 征夫 永田 清也、守屋 尚密、稲葉 清(敬称略)</p> <p>・(欠席者2名)</p> <p>川島 あつ江、大塚 由幸(敬称略)</p> <p>・(事務局5名) 環境水道部長、環境課長 環境保全グループ長、同グループ主査、同グループ副主任</p>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度環境目標関連施策の実施状況について ・磐田市役所におけるエコアクション21の取り組みについて ・新エネルギー及び省エネルギー設備普及促進奨励金の状況について ・意見交換
配付資料等の件名	<p>(1)平成27年度 第1回磐田市環境市民会議次第</p> <p>(2)平成27年度 磐田市環境市民会議委員名簿(15名)</p> <p>(3)平成27年度 第1回磐田市環境市民会議席次表</p> <p>(4)平成27年度 環境目標・取り組み方向・取り組み項目別内容等一覧表</p> <p>(5)磐田市役所におけるエコアクション21の取り組みについて</p> <p>(6)新エネルギー及び省エネルギー設備普及促進奨励金の状況について</p> <p>(7)冊子「大・大好き! 太田川の水生物」</p>

<p>概 要</p>	<p>会議の発言内容、審議経過等を記載</p> <p>(1) 開会 (2) 改選委員紹介 (3) 挨拶（環境水道部長） (4) 副会長指名 (5) 議事 (6) 挨拶（佐藤会長） (7) 閉会</p>
<p>質 疑 ・ 応 答</p>	<p>【説明概要】事務局</p> <p>・事務局より平成 27 年度環境関連施策の実施状況について主なものを説明した。</p> <p>【質疑意見 1】委員</p> <p>今のスライドの中で、最後に子どもたちと大池の水質を調べたということで、この水質検査の結果として、今後何か取り組みとして考えていることがあるかどうか聞きたいです。</p> <p>【回答】事務局</p> <p>当日、大池の会の皆様が講師を務められて、水質検査等を実施されていきました。大池の会は道路河川課、農林水産課、都市整備課と協議会を持っております。大池は湛水防除の機能もありますが、たとえば一回水を全部流してしまっ、池の底を干すような、そういったことが出来ないかというところを協議されているとお伺いしています。</p> <p>【質疑意見 2】委員</p> <p>水の汚れが非常に目立つわけで、それで私も何回か水質検査をやらしていただいています。今までいろいろ取り組んできたわけですが、やはり水が非常に汚れている。我々生物多様性を基本に考えているものですから、野鳥もいろいろ飛来してきます。そういったことが、非常に大事だと考えています。水の汚れの検査を一番の目的にやらせてもらっています。そして、その結果を市の方に報告しているわけですが、我々としてはそれに対してどういう方向でいったらよいか、ひ</p>

とつ提案させていただいています。市役所の方と協議をしてお金もかかるものですから、できるだけお金をかけないでできることはないかということです。私もひょうたん池を何回も観察させてもらっていて非常にきれいになっている。どのような取り組みをされたのでしょうか。

【質疑意見 3】 委員

大池は湧水ですか、それとも流入があって流出していますか。

【質疑意見 4】 委員

基本的には湧水はないですが、周辺には大雨が降ったりすると湧水が湧いているところがあります。湛水防除ということで、地域が昔からわりと湿地帯で非常に低い。大雨になると水浸しになる。周辺に田圃があって駅から近くて、水辺があるなんて、こんなに素晴らしい環境はないじゃないかと、私は常に思っています。大池の中に水門が何箇所かありますけども、大池の方に流し込んで待機所の方から栄川、久保川、今之浦川を通して、最終的には海の方へ流す。そういう形になっています。

【質疑意見 5】 委員

非常に大池は大きいから、これをやっていくのは大変だと思います。まち美化で年1回大掃除をして。行政の方に非常にたくさん関わっていただいて動いてきていると思います。大池が非常にきれいになったら最高ですね。夏はツバメが一回ものすごくいっぱい来た時もありますし、そういう点では非常に良い環境にあるなと思っています。実際に何が影響しているとか、水の分析で少しずつ除去ができるものがあるかどうか、それと周りから汚水が流れてくる可能性がありますよね。そういったものがどんな形で防止できるのか、大きな範囲でやらないとなかなか難しいなと思っています。

【質疑意見 6】 委員

まったくのボランティアでやっているものですから、少しずつですけど、そういったことを基本的には考えてやらせていただいています。

委員

大変だと思います。

委員

また協力をお願いいたします。

【質疑意見 7】委員

せっかく子どもたちが調べてくれているわけですね、そういった意識ってこれからも大切にしていけると、みんなが関わってくれていることが非常に良いと思っています。これらをうまく活用・協力していただいて、皆さんに考えてもらうことが大きいと思っていますので、ぜひ続けて欲しいと思います。

委員

有難うございます。

【説明概要】事務局

・事務局が磐田市役所におけるエコアクション 21 の取り組みについて説明した。

【質疑意見 8】会長（委員）

それではわたくしの方からエコアクション 21 は、磐田市で 34 事業所ということで、そんなに広がっているわけでもないなと感じるのですけども、一般企業の方たちで、これについての感想と言いますか、こういう点が取り組みにくいとか取り組みやすいとか、そういった声というものはどうなのでしょう。集めていらっしゃるのでしょうか。

【回答】事務局

具体的にアンケートといった形ではしておりませんが、話をお伺いし、動向を見ている中で、例えば認証を取得してもそれを継続していくことが難しいということがあります。こういったマイナス部分もありますが、最近の一つの事例で、ISOではシステムが膨大で手間がかかるということで、ISOからエコアクション 21 に切り替えたと

いう事業者もいらっしゃいます。行政としては、エコアクション 21 は簡易なシステムで環境経営が図れるということを P R していきたいと考えています。

【質疑意見 9】会長

一つひとつこんなふうに行えた、取り組みにつながるのですよと、具体例をもっと広げていくとよいかと思いますが、その点、商工会議所の方はどうでしょう？

【質疑意見 10】委員

環境省の推進ということで、非常に大きく育っています。海外でもそうですけど新しいことを始めると海外では 6 年で、日本では 12 年ぐらいで衰退するという傾向があります。エコアクションはちょうど 12 年目ですね。先程のグラフにありましたように、現在国内全体で 7,500 件ほどですが、磐田市においてはその中で非常に素晴らしいということを皆さんの方にお伝えさせていただきたいなあと。件数は確か 34 件ですが。磐田市役所における取り組みは、小学校や幼稚園、保育園まで含めて取り組んでいます。件数は 1 件だけでもそれぞれの箇所で取り組んでいるのです。そこまで取り組むことは難しいことで、やはり手を抜きたいと思いがちです。取り組む質を見たときに、素晴らしいところだと思っています。

エコアクションの推移ですが、そういうことで数字上の件数だけではありません。最近になって、環境省が本腰を入れはじめました。ロゴマークに環境省と入るようになりました。私たちは、エコアクションに取り組む事業所です、というマークを入れて宣伝をできるようになりました。流れが変わってきているのですね。

【質疑意見 11】委員

エコアクション 21 というのは 12 年前からで、当時、磐田に地域事務局がありませんでした。ここに事務局がないとふじのくになどほかの地域事務局の審査を受けて認証登録することになります。また、一つの企業によって取り組みの仕方は I S O にするかエコアクションにするか異なります。特に大企業の場合は、求められるものがある程

度ありますので、ISOを選択します。かなりの数の企業が、何かしらエコアクションかISOに取り組んでいるのは事実です。ですので、34という数字がすべてではないということをご理解していただきたい。

【質疑意見 12】 会長

様々な意味で環境関連の数値、そういったものをトータルで考えていかななくてはいけない。ということは、磐田市の取り組みというような時に、エコアクション 21 だけでなく、環境に関する他の数値を併せて検証すると非常に磐田市の姿がより見えてくるということになると思います。

【質疑意見 13】 委員

今、環境政策課というところに所属しております。その業務の一環としまして、地球温暖化対策の仕事をしておりまして、まさにエコアクション 21 のことについても担当しております。今お話がありましたように、静岡県内の自治体、磐田市を含めて今9の市町が取ってらっしゃる。最初に牧之原市が取られたわけですけども 磐田市もとっていらっしゃる。エコアクション 21 になるのかISOになるのか、大企業向けだとやっぱり海外取引等もあると思いますので、どうしてもISOじゃないとだめとなる。そういうのはなかなか難しいもので、中小企業向けに作ったものがエコアクション 21 になっているわけです。そして課題と言いますと、平成 25 年を頭にしましてそこから伸びていない。減少傾向、その一つの理由としまして、新規はもちろんあるんですけど、更新がなされない。県としてはその対策を打たなくてはいけないので、中小企業向けの無料の省エネの診断員という派遣制度をつくりました。新規もお願いしたいが、更新も増やしていただきたい。なかなかうまくいってないのかな。

会長

それはどうしてでしょうか。

委員

制度として皆さん取り組んではいますが、メリット感がでないとい

うのが感じられているのかなと思います。たとえばそのメリットとして、行政側として今できることとすると、入札参加資格審査申請項目の加点や生活環境保全条例に基づく事前協議の免除など、メリット感を出していただくようにはしています。全体としてもっとメリット感がでるPRをしなくちゃいけない。先程お話ししましたように、その環境の問題から含めて入ってはいくのですけども、一応事業内容をすべて見直していただいて、環境経営の面から、無駄を排除していただいて、それを商売につなげていただくというような考え方でいます。そういったものについてのPRが足りないと感じていますので、診断員の方に関わっていただいて。それぞれに持っている課題が違いますので、簡単なことを言うと担当者が変わってしまったのでよく分からなくなりました。中小企業はそういうことがありますね。そういうものをうまくつなげるように、西部地域の方がそういったものを活用していただければと思います。

【質疑意見 14】 委員

私が企業に属していた時には会社でISOを取得していました。仕事としては分析化学をしていましたが、いろんな高度な分析機器、その中で一年に大きな点検を一回、もう一度ISOで大きな点検を義務付けられていました。非常に仕事が忙しいときに高度な装置が突然壊れると非常に困ってしまいます。しかし、ISOの定期点検をやっているおかげで、突然壊れることが非常に少なくなったという経験があります。私の仕事ではそういうことだったですけど、ほかにもそういったことがきつと出てくると思います。こういう時にいいですよ、また継続していくと確かに面倒くさいのですけど、いざという時に非常に助かる。

【質疑意見 15】 会長

大義だけを押し付けるのではなくて、現場でやっている人の一つひとつの事例をみんなが知って取り入れようかなと、先程思ったのですけども、エコアクションとISO認証を両方とることでもっとメリットがある。そういうことってないですか。

【質疑意見 16】委員

先程話した通りISOとエコアクションは全く労力が違う。ISO 14000は監査自体も非常に厳しい。一方、エコアクションの監査は指摘事項に対して是正というのはすごく柔らかい。中小企業が対象になりますので、それをたとえば10人の企業の中で、環境管理責任者を設けて環境活動レポートを作る。それだけでも結構な労力になる。それをやるだけでも一杯一杯です。取り組む最初のうちは出来ませんが、その後、担当者が変わったりすると、毎年エネルギーのすべてを出してそれを環境レポートにまとめる仕事の労力がかかる。ISOに掛かる労力は、エコアクション21の労力の10倍ぐらいです。ですから環境に関してのものを二重にとる必要はない。ISOがあればまったく問題はない。ISOを取ろうとすると、10人ぐらいの規模だとまずとることはできない。

【質疑意見 17】会長

今度、磐田市がこんなに一般企業がやっていますよとお知らせする際には、両方併せて出していただけるとわかりやすいですね。

【質疑意見 18】委員

今年の7月ですか、ロゴマークが変わりましたよね。ロゴマークが少し気になっていましたが、磐田市はロゴマークについて統一性を持っていますか。

【回答】事務局

本日使っているロゴマークには、環境省のロゴが入っています。以前使っていたものには入っていませんでした。

【質疑意見 19】委員

環境省のロゴマークを統一して使っていくということですか。

【回答】事務局

その通りです。

【説明概要】事務局

・事務局が新エネルギー及び省エネルギー設備普及促進奨励金の状況について説明した。

【質疑意見 20】委員

今の磐田市の奨励金は磐田市の自主財源ですか。

【回答】事務局

市の単独財源です。

委員

奨励金は磐田市でもらって県でももらえるのですか。

【回答】環境保全グループ長（事務局）

県でももらえます。県の奨励金は、上限 44,000 円です。

【質疑意見 21】委員

単純に考えますと太陽光だとか家庭用のガスコージェネとかの機器を使います。そうすると必ずメンテナンスとか、屋根の上に人が乗っているいろいろなことが必要になります。私が理想だと思っているのは、家庭用の蓄電池です。蓄電池は、対象になってないようですが、理想を言うと蓄電池と深夜電力を組み合わせたものが一番だと私は考えますが、深夜電力を使って5日分ぐらいの蓄電を整えて、もし災害があった時には、その電気で賄えるということが出来ます。いろいろなものが確かに並んでいますが、ヒートポンプとか機器などは絶対つづれません。メンテナンスも必要だし、必ず使用期間というのがある、それよりも私が理想だと思うのは、もう一度言いますと深夜電力を使って蓄電する、それをいざという時に使うのです。これが一番理想じゃないかと思っています。家庭用の蓄電池を一つご検討下さればという意見でございます。

【質疑意見 22】副会長

足を止めるような話ですけども、この前テレビでしたか新聞でしたか、竜巻によって太陽光のパネルが傷んでしまった。設置基準がはっきりしていないからということが出ていました。磐田市の場合は、基準はどうなっているか。基準が決められていて、申請があった場合はどのようなことをやるのか。

【回答】事務局

風荷重を計算して、強い風が吹いた時に太陽光パネルが飛ばないかどうか、磐田市独自の基準はありませんが、本市では土地利用の審査をしています。たとえば1,000㎡以上で太陽光発電システムをやると、土地利用申請を出してもらうことになり、審査の際には事業者には風荷重の検討を求めています。

【質疑意見 23】副会長

新電力のことでお尋ねします。市として電力の自由化について、一般家庭に促進していくのか。これは自由だと思いますが、いろいろな業者が非常に入り乱れて一般家庭に売り込みに来ると思うのですが、その点、詐欺まがいの商法が蔓延してはいけないので、何か対策的はありますか。

【回答】事務局

そういう視点での行政の対応はこれから考えなくてはならないな、と個人的に思っていたのですが、今後確かにいろいろな商法も出てくると思うので、その辺も考えなくてはならないなと思います。

閉会（環境課長）

長時間にわたりまして、熱心なご意見、熱心な審議、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。以上をもちまして平成27年度の第1回の環境市民会議を閉会させていただきます。